

にほんご
交流活動
事業

せんり・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。
毎週火曜日 10:00~12:00 (会場：千里図書館)

2016 年度を振り返って

ボランティアより

活動も丸4年となり、一年を通してのイベント等内容的に安定してきたところで、より活動内容を充実させ必要な人に情報を届けたいと試行錯誤しました。2016 年度は市の出前講座や、母語保育についての講座、外国人ママさんによるヨガや料理教室を行い、SNS 活用の見直しや名刺を作成し活動の周知に努めました。



豊中市の子どもの救急の出張講座を受けました



夏のお料理の日の一コマ。流しそうめんとフルーツポンチ

2017 年度に向けて

通勤族が多い地域なので、土地柄、定着してくださる人が少ないのですが、毎回参加したくなるような居心地の良い空間づくりと、日本語の習得や母国との関係性をサポートできればよいなと思っています。



外国人ママさんによるヨガ教室



外国人ママさんから肉饅頭を習いました

にほんご
交流活動
事業

千里にほんご 準備会議

多文化フェスティバル、帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業での「多言語による進路相談会」など、学校や教育委員会との連携により、外国にルーツを持つ子どもたちをサポートしています。

2016 年度を振り返って

千里地域で日本語での交流活動が欲しいという要望にこたえて 2016 年 6 月から準備を開始しました。千里文化センターで 2017 年 4 月 6 日からボランティア 24 名で活動がスタートしました。

2017 年度に向けて

暮らしにかかわる内容（病院、学校、保育園や幼稚園での手続き、挨拶や暮らしのルールや情報など）を中心に話題を広げ、会話を楽しみながらボランティアも学習者も共に学べる場を目指します。



活動スタートに備えてボランティアも勉強中（ボランティア養成講座の様子）



ボランティア養成講座の様子

「千里にほんご」
2017 年度から開催しています！



2017 年 4 月 活動の様子

にほんご
交流活動
事業

もっともっとつかえるにほんご

日本語交流活動。毎回テーマを設定しての教室形式で実施しています。学習者にはそれぞれボランティアがサポートにはいり、個別対応もしています。毎週月曜日 10:00~12:00

2016 年度を振り返って

ボランティアより

もっともっと日本語を話せるようになりたい、日本語を使ってできることを広げたいと思う外国人のための学習の場です。マンツーマンサポートをしながらグループ全体でテーマ学習をしていて、回を重ねるごとに学習者が自分のことばで自信を持って話すことができるようになってきました。学習者からの「今日はどんなことをするのか、毎回楽しみにしています」という声もあり、ボランティアの励みになっています。このような雰囲気の中で交流がますます深まり、お互いにとって確かな「居場所」になっていると実感しています。



写真上) テーマは「星に願いを」～七夕短冊づくり～
写真下左) 腕をふるってお国の料理紹介
写真下右) つきたての餅づくり体験

2017 年度に向けて

学習者が継続して参加するようになってきたので、さらに交流を深めて学習者がどんなことを必要としているかを把握し、学習内容を工夫していきたくと思っています。すぐ使えるような生活に役立つ日本語をできるだけ楽しく学べるようにボランティアとしてスキルアップに努めていきたいです。



にほんご
交流活動
事業

とよなかにはほんご・木ひる

日本語交流活動。レベル別、目的別でのグループ活動です。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでも OK! 毎週木曜日 13:30~15:30

2016 年度を振り返って

ボランティアより

前半は習熟度別に 5 つ、お茶休憩を挟んで、後半は学習者の希望に沿った 4 つのグループに分かれて学習するので、より多くの人と知りあえます。学習以外では、料理会、ポトラックパーティー、お出かけなどがあり、学習者と一緒に楽しめます。学習終了後の「お抹茶の会」も好評です。木ひるの小冊子「ちょっとほっと」は、学習者、ボランティア共にお互いの新たな一面を知る一助になっています。



2017 年度に向けて

ボランティア全員が各グループの学習者と学習状況を把握して、学習者の学びに寄り添えるように努力します。行事を通じて、学習者同士また学習者とボランティアの交流を深めて、居心地の良い場所作りを目指します。

写真左上) 後半の「ことば体験」の活動。手作りのメニューを使って、レストランで注文。「オムライスと紅茶おねがいします!」
写真左下) 大阪天神橋筋 6 丁目にある「くらしの今昔館」へみんなでおでかけ。600 体の大ひな壇の前でパチリ。木ひるのみんなも、おひな様になりました。
写真右上) テーブルの上にみんなの持ち寄りのケーキ、チキン、くだものなどがいっぱい。あれもこれも食べた〜い。自己紹介やゲームなどもあり、楽しい時間を共有しました。



にほんご
交流活動
事業

とよなかにほんご・金あさ

日本語交流活動。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでもOK!
毎週金曜日 10:30~12:00

ボランティアより

2016 年度を 振り返って

“日本在住の外国人がより良い生活ができるように”をベースに「和食を作りたい」「日本語能力試験を受けたい」等、できるだけ学習者の希望にもこたえられるような交流活動をしています。毎週活動後のミーティングでは自由な発案のもとに企画、実行に至っているためメニューやレシピも多彩です。

2017 年度に向けて

引き続き“より良い生活”のためのサポートをしつつ学習者間の交流ももっと活発になるよう、世界平和のための草の根力を発揮したいです。

写真上) CC スペースでは、子どもの学校が休みの期間、こんな風景も
写真右) 筑前煮・ポテトサラダ・味噌汁を作りました。

にほんご
交流活動
事業

にちようがちゃがちゃだん

平日働く人たちも参加できる日本語交流活動。参加者のさまざまなニーズに対応しています。
毎週日曜日 10:00~12:00 (第一日曜日は休み)

2016 年度を振り返って

ボランティアが安定的に参加し、学習者が落ち着いた雰囲気に参加できるようになりました。日本語を学習する、おしゃべりをするなど学習者それぞれの目的になった居場所になっています。

ボランティアより



2017 年度に向けて

学習者とボランティアのマッチングが毎回変わること、新たな気づきの場をつくります。



写真上) みんなで はい、パチリ!
写真下左) おしゃべりの場=がちゃがちゃの風景
写真下右) 料理会が開かれました。

こども
国際
事業

平和と共存のための～おまつり地球一周クラブ

小・中学生のための国際理解プログラム。地域に住む外国人を講師に迎えて交流しながら、様々な国、地域について学びます。月1回程度実施。

2016年度を振り返って

様々な国の方を講師に招き、遊び、料理、ゲーム等の体験を通して、その国の文化について学びました。積極的に質問をしながら全力で体験している子どもたちの姿や、講師が嬉しそうに自分の文化を語り、質問に答えているのを見て、嬉しくなりました。今年度は大阪生野コアタウンへフィールドワークにも行き、町の歴史や現在の様子を教えていただきながら体感しました。子どもたちにとっても、毎回メリハリのあふイベントを行うことができましたと思います。

2017年度に向けて

今年度好評だった「センター外での活動」や「親子で一緒に体験できる企画」、その他「子どものリクエスト企画」も取り入れて、様々な体験ができるよう検討したいです。外国文化にあまり触れる機会のない子どもたちに来てもらえるような広報をめざします。



写真上) 扇を使った舞踊体験（韓国朝鮮舞）
写真左上) ピニャータ（イギリスのお誕生日パーティー体験でのコマ）
写真右下) 親子一緒にブラジルのカポエイラにチャレンジ
写真左下) ルーマニアのクリスマスでは欠かせないジンジャーブッキーのデコレーションも体験しました。

多文化
共生推
進事業

多文化共生推進事業

日本人/外国人のために、参加しやすく、異文化理解を促進する様々な取り組みをおこなっていきます。

2016年度を振り返って

日本文化体験活動では日本の文化に興味を持っている外国人向けに、茶道と日本武道の体験を企画しました。「侍プロジェクト」と名付けた（公財）スポーツ振興事業団との共催事業では空手、剣道、合気道を体験しました。食を通じた国際理解「世界を食べよう」も年3回開催し、参加しやすいイベントで地域の方々に大好評を得ました。「国流シネマカフェ」も夜間に始まりました。

2017年度に向けて

日本人、外国人が地域で出会い、多様性を理解し、それぞれの文化に関心をもつきっかけになればと思います。



写真上) 世界を食べよう～ルーマニア編～講師と料理を作りながら楽しく交流
写真右下) 茶道教室 先生から袱紗の扱いを習いました
写真左下) 日本の武道「空手」体験 「エイ！」

持続可能な人づくり事業

ボランティア養成・研修／哲学カフェ

- ・時代に則した学びの場、および対話の場を創造し、多文化共生社会をつくる人づくりを行っています。
- ・哲学カフェ（大阪大学臨床哲学研究室の協力、カフェフィロとの共催）
- ・日本語ボランティア養成講座の開催（年1回）

2016年度を振り返って

【哲学カフェ】

今年は「女性のための哲学カフェ」を開催しました。「様々な立場・年齢の方にお集まりいただきましたが、カフェの時間では一人一人がそうした役割を一度脇において話せたように思います」（進行役）、「その場に現れ出ているものからは想像もつかないようなものが個々の中にはあり、それが緩やかな連鎖や影響の中で時に現れ出たり、もしくは隠れたままだったりすることがひたすら面白かった」（参加者）という感想をいただきました。

【セミナー・研修会】

学びを単なる知識にとどめず、外国人が直面している課題や日本社会が構造的に抱える問題について、支援者として知り、地域でできることを考えるための意見交換の時間を意識的に設けました。今後も、学びを行動につなげるための工夫を考えながら、研修を企画していきます。

家族写真をめぐる私たちの歴史

【ブックトーク ※とよなか国際交流センター】

家族写真をめぐる私たちの歴史
在日朝鮮人、被差別部落、アイヌ、沖縄、外国人

「家族写真は、私たちが生きてきた歴史の証。2000年を過ぎ、写真が撮られる場所も、撮る人、撮られる人、撮られる瞬間も、時代によって大きく変わりました。家族写真は、私たちが生きてきた歴史の証。2000年を過ぎ、写真が撮られる場所も、撮る人、撮られる人、撮られる瞬間も、時代によって大きく変わりました。家族写真は、私たちが生きてきた歴史の証。2000年を過ぎ、写真が撮られる場所も、撮る人、撮られる人、撮られる瞬間も、時代によって大きく変わりました。」

9/24 14:00～16:00

【とよなか国際交流センター】

家族写真をめぐる私たちの歴史

9/24 14:00～16:00

【とよなか国際交流センター】

2017年度に向けて

【哲学カフェ】引き続き「女性のための哲学カフェ」を開催するのに加えて、以前よりも開催回数を少なくした分、一回一回のカフェのデザインを工夫して、常識や思い込みで固まったアタマをほぐせるような時間にはたいです。

【ボランティア研修】

「学びほぐしセミナー」を実施します！また、様々なテーマや切り口で学びの場をもうけていきます。

豊中市制80周年記念事業

新たな多文化共生社会の地平をめざして

「とよなか国際交流協会と私」

「外国人の『対称性』への気づき」

10月8日(土) 14時～16時

10月20日(木) 18時～20時

【とよなか国際交流センター】

ゆるせない！

人種差別を扇動する言動！

特別公開講座

「ヘイトスピーチ解消法」を考える

2016年7月23日(土)

14時～16時30分

【とよなか国際交流センター】



哲学カフェの様子

持続可能な地域づくり事業

・持続可能な開発のための教育の10年(ESDとよなか) ・メディアリテラシー市民ゼミナール ・講師派遣

【ESDとよなか】国連持続可能な開発のための教育の10年(2005年～2014年)の理念に基づき、次世代に渡す地域づくりのための多様なセクターが連携するための取り組み。【メディアリテラシー】メディア分析を通じて「外国人・日本人」の捉えられ方、考え方を見直す参加型の講座。【講師派遣】地域の学校・諸団体への講師派遣

2016年度を振り返って

【講師派遣】今年度は市内外の学校をはじめ、人権研修などにのべ64件、21カ国、126人が各機関に出向きました。また、豊中市社会福祉協議会を通じて協会に登録しているコミュニティ通訳ボランティアを派遣しました(英語/2件)

【ESD】豊中市と市民活動中間支援団体によるESDとよなか連絡会議を行い、各団体の取組状況の共有、課題や連携についてミーティングを行いました。

【メディアリテラシー】講座では、テレビやネット動画などの映像メディアが提示する「外国・外国人」像を分析し、クリティカルな思考やマイノリティ市民の視点の重要性を学びました。またトランプ大統領のメディア対応や「フェイクニュース」の問題などもとりあげ、メディアと市民の関係をあらためて考える機会になったのではないかと考えています。例年より参加者も多く、幅広い年齢層・バックグラウンドの方とグループワークができました。

2017年度に向けて

【講師派遣】今年度も積極的に多文化共生・協会事業について発信していきます。

【ESDとよなか】ESDとよなか連絡会議の課題である「誰もが住みやすく、持続可能な社会(地域)づくりの推進」に沿って、様々な事業を計画・実施します。

【メディアリテラシー】ここ数年はメディアの分析が中心になっていますが、メディア制作の可能性も探りたいと思っています。リピーターの方もふくめ、より多くの方に参加してもらえるようなテーマを考えていきたいです。

国際結婚の課題探る

外国人女性巡りシンポジウム

「声に耳傾け支えて」

外国人女性巡りシンポジウム

外国人女性巡りシンポジウム

外国人女性巡りシンポジウム



写真上) 静岡女性会館で職員が講演しました(静岡新聞より)

写真下) メディアリテラシー講座の様子

※ESDとよなか連絡会議：赤ちゃんからのESD、市民環境会議アジェンダ21、人権まちづくり協会、国際交流協会、男女共同参画推進財団、社会福祉協議会、教育委員会(地域教育振興課)、環境政策課、千里文化センター、人権政策課が構成メンバーのゆるやかなネットワーク。

市民活動
協働事業

市民活動協働事業

様々な市民団体、中間支援組織と共に、多文化共生のまちづくりをすすめるための協働事業を実施するとともに、市民主体の国際交流活動を促進するための相談、および支援をおこなっています。

2016年度を振り返って
「市民活動共同デスク」
「しょうないREK」など中間支援組織のネットワークで情報共有、発信をしています。また地域の国際交流市民団体への支援、協働を行います。今年も秋に「とよなか国際交流フェスタ」を実行委員会形式で実施しました。



2017年度に向けて
中間支援組織間の連携をより一層促進して、協働で市民向け事業等ができればと考えています。



写真左) 国際交流フェスタのようす。16年の実行委員長は当協会が務めました。大賑わいでした！来年もお楽しみに。
写真右) 共同デスクで作成している壁新聞。市民活動組織間で情報交換、連携をおこなっています。



施設
管理
受託
事業

施設管理受託事業

豊中市からの委託をうけて、とよなか国際交流センターの貸室業務などの公共空間の管理、組織運営を行っています。

2016年度を振り返って
とよなか国際交流センターの貸室利用者は 58,167 人でうち外国人利用者は 22,941 人でした。視察受入 (17 件) では国際交流、多文化共生推進について全国各地から訪問がありました。とよなか国際交流センターの登録グループ (24 団体) とは連絡会を持ち、実行委員会形式でイベント「とよなか国際交流フェスティバル 2016」を開催しました。地域の皆さんにセンターで活動する団体の活動や協会・センターの存在意義を再認識してもらう場となりました。



2017年度に向けて
多文化共生の理解者や協力者を増やすため、ギャラリーや空いているスペース等を有効に活用して、センター内の情報発信力を高めたいです。



写真上) ふれあい交流サロンには多言語の絵本を配架しています。貸出もできます。
写真左) ギャラリー展示



協力者ご芳名

(2016年度分の賛助会費・2016年度内に募金・寄付金およびリサイクル寄付にご協力いただいた方々、敬称略、五十音順、昨年度匿名希望だった方は今年も匿名にしています)

青柳 隆
青柳 尚子
秋山 真視
安立 愛子
足立 友香
阿部 郁子
天筒 郁美
荒川 貴佳子
有田 進
家木 路幸
池亀 恭子
池田 広恵
池田 真知子
石井 太
石川 朝子
石田 紀子
石田 町子
石原 さかえ
井関 雅子
市川 欽一
伊藤 正子
井上 智美
井下 祥子
今井 貴代子
岩崎 宏
岩見 親男
上田 幸子
上間 紫織
鶴川 まき
宇田 裕華
内木場 佳美
内山 多栄子
内海 弘子
浦 耕太郎
衛藤 ますみ
榎井 縁
老田 真理子
種田 ゆみこ
大池 裕子
大久保 裕美
大島 昭子
太田 法子
大西 美恵
岡 亜希子
尾形 直毅
岡野 かおり
岡本 栄子
岡本 紗代子
岡本 慎雄
小川 洋子
沖田 真理子
奥井 正光
奥田 八重子
於勢 眞十郎
小野 仁彦
小野 慎太郎
小野 遼太郎
片岡 祥恵
片岡 由賀子
加藤 隆史
加納 義之
鎌田 菜絵
亀山 映子
嘉本 伊都子
川井 淑子
川北 昭子
川崎 亜希子
川崎 悦子
河田 知佳子

川西 佳奈
河村 咲耶
川原井 典子
木内 淑子
北側 佳恵
北沢 史子
北村 澄子
北村 範子
金 初美
木村 隆夫
木村 美枝子
清原 寛之
金城 清美
具 圭三
権 瞳
小磯 光
郡山基彦・智代
小島 和恵
後藤 澄江
小西池 喜久子
小松 明仁
近藤 充寛
今野 さゆみ
齊喜 慶三
堺 真由美
坂口 解人
坂上 直子
坂本 知子
崎間 覚
佐々木 淳子
佐渡 栄子
浅敷 敷敷
敷田 佳子
柴田 亜希
柴田 泰子
嶋崎 愛子
紫村 瞳
城口 直子
居石 美智子
末永 貴洋
菅谷 洋平
杉山 恵子
鈴木 康子
角田 卓也
諏訪 しのぶ
諏訪 美香
関本 陽子
仙田 忍
園崎 寿子
高岡 奏子
高木 智志
高取 眞記子
高橋 聡子
田上 浩
滝村 恵子
竹内 佳子
田島 知之
田中 清子
田中敬三・恵子
田中 濱子
田邊 裕理
谷口 正子
玉置 薫
津田 直伸
鶴沢 有希子
照井 篤子
東房 麻美
徳弘 保
徳弘 博子

鳥羽 孝明
登丸 あすか
登丸 はるな
友滝 由美
中川 京子
中川 尚子
長倉 穀
中島 和子
中嶋 眞保美
中田 崇彦
中田 峯代
中谷 尚三
中塾 あけみ
中野 道代
永野 真理子
長野 良子
中野 義澄
永原 武敏
中村 智子
中原 治樹
中村 美枝
成田 妙子
西川 達章
西川 妙子
西田 益久
西原 真理子
西村 政明
西本 成美
野崎 志帆
野島 大輔
野田 幸宏
野村 亜紀
野村 智子
生柄 浩子
芳賀 理絵
萩尾 安希子
橋本 陽子
長谷川 朋子
長谷川 洋司
畑崎 典子
畑中 明子
花山 司
馬場 頼子
林 亜矢子
原田 綾子
原田 武男
原田 正仁
東山 由紀
久木 治男
久田 礼子
平井 由季
平田 倫子
平本 孝雄
樋渡 達成
深森 多鶴子
福井 幾子
福田 和也
福田 康宏
福本 香織
藤島 宏美
藤田 和世
藤本 慎治
藤原 幸司
細見 啓子
本田 文代
増山 敏哉
町田 大樹
松井 克行
松浦 義昌

<団体>
あけぼのぶんぶん
(公財) AFS 日本協会
(特非) 国際交流団体未来
(特非) 国際交流の会とよなか
在日本大韓国民団大阪豊能支部
日本聖公会大阪教区石橋聖トマス教会
(学) 中央工学校 OSAKA
とよなか JSL
(一財) 豊中市日本中国友好協会
豊中平和連帯会議
ほくせつ医療生活協同組合
ホストファミリーグループ・アミーゴ

**賛助会員になって、
協会を応援して下さい!**

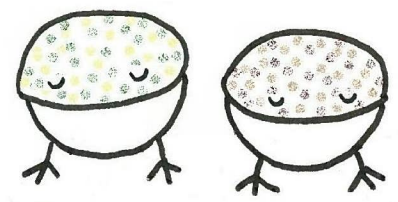
協会の理念に賛同して、会員として協会の外国人のための支援事業を支えて下さる方を募集しています。

会員になると、「おしらせ」などの情報を毎月お送りします。お申し込みは以下の郵便振替口座あてに年会費をご送金ください(通信欄に「賛助会員年会費」と明記して下さい)。直接事務所でも受け付けています。(会費は税額控除の対象となります)

- 加入者名：
公益財団法人とよなか国際交流協会
- 口座番号：
00990-3-305828
- 年会費： 個人 3,000 円、団体 10,000 円、法人 10,000 円

※ご寄付も随時受け付けています！(税額控除の対象となります)
※他、未使用テレカやはがき、ゲームソフトなども集めています。

**ありがとう
ございました**



財務報告

正味財産増減計算書									
2016年4月1日から2017年3月31日									
(単位:円)									
勘定科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計	勘定科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部					②管理費				
1. 経常増減の部					給料手当(管理)				
(1) 経常収益					福利厚生費(管理)				
①基本財産運用益					臨時雇用賃金(管理)				
基本財産受取利息	0	0	3,873,756	3,873,756	会議費(管理)	0	0	0	0
基本財産運用益計	0	0	3,873,756	3,873,756	旅費交通費(管理)	0	0	89,520	89,520
②特定資産運用益					通信運搬費(管理)				
特定資産受取利息	24,500	0	0	24,500	消耗品費(管理)	0	0	16,151	16,151
特定資産運用益計	24,500	0	0	24,500	水道光熱費(管理)	0	0	124,015	124,015
③受取会費					賃借料(管理)				
賛助会員受取会費	975,000	0	0	975,000	保険料(管理)	0	0	17,275	17,275
受取会費計	975,000	0	0	975,000	報償費(管理)	0	0	99,850	99,850
④事業収益					租税公課(管理)				
自主事業収益	1,656,980	0	0	1,656,980	支払負担金(管理)	0	0	11,084	11,084
事業収益	412,122	0	141,500	553,622	食料費(管理)	0	0	0	0
事業収益計	2,069,102	0	141,500	2,210,602	委託費(管理)	0	0	151,035	151,035
⑤受託事業収益					研修費(管理)				
豊中市指定管理受託料収益	60,029,568	1,602,432	0	61,632,000	渉外費(管理)	0	0	176,750	176,750
小学校英語外国語体験活動事業受託料収益(豊中市)	4,734,417	0	0	4,734,417	支払手数料(管理)	0	0	83,200	83,200
文化庁	1,568,597	0	0	1,568,597	管理費計	0	0	3,105,155	3,105,155
生活困窮者支援事業受託料収益(豊中市)	2,037,843	0	0	2,037,843	経常費用計	81,806,973	771,318	3,105,155	85,683,446
こども日本語教室受託料収益(豊中市)	2,267,580	0	0	2,267,580	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,987,959	831,114	917,101	△ 5,239,744
受託事業収益計	70,638,005	1,602,432	0	72,240,437	特定資産評価損益等	△ 70,104	0	0	△ 70,104
⑥受取補助金等					当期経常増減額				
助成金(大阪国際交流財団)	500,000	0	0	500,000		△ 7,058,063	831,114	917,101	△ 5,309,848
その他助成金(大阪コミュニティ財団)	0	0	0	0	2. 経常外増減の部				
受取補助金計	500,000	0	0	500,000	(1) 経常外収益				
⑦受取寄付金					経常外収益計				
受取寄付金	552,973	0	7,000	559,973	(2) 経常外費用				
受取寄付金計	552,973	0	7,000	559,973	経常外費用計				
⑧雑収益					当期経常外増減額				
雑収益	59,434	0	0	59,434	他会計振替額	401,055	△ 401,055	0	0
雑収益計	59,434	0	0	59,434	税引前当期一般正味財産増減額	△ 6,657,008	430,059	917,101	△ 5,309,848
経常収益計	74,819,014	1,602,432	4,022,256	80,443,702	法人税、住民税及び事業税	0	171,700	0	171,700
II 経常費用					当期一般正味財産増減額				
①事業費					一般正味財産期首残高				
給料手当	32,488,005	179,583	0	32,667,588	一般正味財産期末残高				17,033,266
臨時雇用賃金	6,231,504	75,395	0	6,306,899	II 指定正味財産増減の部				
福利厚生費	5,866,408	162,788	0	6,029,196	①基本財産運用益				
旅費交通費	3,310,901	0	0	3,310,901	基本財産受取利息(指定)	0	0	3,873,756	3,873,756
通信運搬費	798,291	0	0	798,291	基本財産運用益計	0	0	3,873,756	3,873,756
図書配布費	123,841	0	0	123,841	②特定資産運用益				
消耗什器備品費	1,121,131	0	0	1,121,131	特定資産受取利息(指定)	24,500	0	0	24,500
消耗品費	2,918,329	10,391	0	2,928,720	特定資産運用益計	24,500	0	0	24,500
印刷製本費	175,609	0	0	175,609	③一般正味財産への振替額				
材料費	74,569	0	0	74,569	基本財産運用益振替額(指定)	0	0	△ 3,873,756	△ 3,873,756
水道光熱費	5,915,520	161,220	0	6,076,740	特定資産運用益振替額(指定)	△ 24,500	0	0	△ 24,500
賃借料	1,234,808	0	0	1,234,808	一般正味財産への振替額計	△ 24,500	0	△ 3,873,756	△ 3,898,256
保険料	306,450	0	0	306,450	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
報償費	12,405,161	0	0	12,405,161	指定正味財産期首残高				200,000,000
租税公課	3,950,217	86,449	0	4,036,666	指定正味財産期末残高				200,000,000
支払負担金	176,495	0	0	176,495	III 正味財産期末残高				211,551,718
支払寄付金	0	0	0	0					
委託費	3,483,910	95,330	0	3,579,240					
使用料	332,870	0	0	332,870					
支払手数料	5,912	162	0	6,074					
食料費	66,595	0	0	66,595					
渉外費	18,738	0	0	18,738					
研修費	117,750	0	0	117,750					
広告宣伝費	674,997	0	0	674,997					
雑損失	8,962	0	0	8,962					
事業費計	81,806,973	771,318	0	82,578,291					

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

基本財産の投資有価証券は償却原価法(定額法)によっている。

特定資産の投資有価証券は期末日市場価格に基づく時価によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

販売用図書

個別法による原価法によっている。当期末の実施棚卸残高に基づき計上している。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(5) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に関わる方法に準じた会計処理によっている。

◆ソーシャルグッド・プラットフォーム「gooddo(グッドゥ)」に参加しています!

社会課題に対して「NPO・NGO」「企業」「消費者」の3者が協力をしているソーシャルグッド・プラットフォーム「gooddo(グッドゥ)」に参加しています。消費者が、目的に賛同するNPOやNGOに寄付で支援できるもので、皆さんの毎日のワンクリックのご協力、2016年度は支援金 **56,374円** をいただきました! ありがとうございます。

引き続き、毎日ポチッとおねがいします。

